

# 目 次

序 章 無作為抽出ウェブ調査の試み	1
▶ 問題関心と調査概要	[平沢和司・杉野 勇]
1 問題関心と研究の問い	1
2 調査概要	8

## 第 I 部 調査方法の検討

第 1 章 無作為ミックスモード調査の可能性	19
▶ ウェブ法と郵送法の比較を中心に	[平沢和司・歸山亜紀]
1 なぜミックスモード調査か	19
2 調査とデータの概要	24
3 分 析	25
4 結論と議論	38
第 2 章 無作為抽出回答者と非確率オンラインパネル回答者の比較	44
▶ 分析結果の一般化可能性の観点からの検討	[杉野 勇]
1 学術調査における非確率オンラインパネル	44
2 クローン調査による比較	47
3 異なる非確率オンラインパネルの比較	61
4 調査間の相違についての理論的検討	62

第3章 リスト実験によるセンシティブな内容の質問の試み……………70

▶ ネットにおける在日韓国・朝鮮人についての否定的な書き込み経験率の推定  
[小林大祐]

- 1 センシティブな内容をいかに質問するか 70
- 2 リスト実験の考え方 74
- 3 本研究におけるセンシティブ項目および非センシティブ項目 76
- 4 調査の概要 78
- 5 分析 81
- 6 結論と議論 84

## 第Ⅱ部 調査内容の分析

第4章 東京五輪についての社会意識の分析……………97

▶ 階層帰属意識と政治意識 [轟 亮]

- 1 非常事態宣言下の五輪開催 97
- 2 既存の調査からみる世論の推移 99
- 3 オリジナルな調査と質問項目 101
- 4 東京五輪についてのその他の意識 112
- 5 中止／再延期／開催の分析 117
- 6 東京五輪と階層・政治 120

第5章 定住外国人に対する態度の可変性……………125

▶ サーベイ実験による国名の違いの検討 [杉野 勇]

- 1 在留外国人をめぐる状況 125
- 2 ワーディングを変えてのサーベイ実験 130
- 3 質問項目ごとの比較 132
- 4 排外主義態度スコアによる分析 137
- 5 基本形の「外国人」質問の限界 143

第 6 章	イデオロギーと社会意識	146	
	▶非確率パネルによる追跡調査の分析		[尾嶋史章]
1	イデオロギーと政治	146	
2	データの概要とイデオロギーの分布	147	
3	イデオロギーの一貫性とその変動	150	
4	社会意識からみるイデオロギーの特徴	154	
5	イデオロギーの持つ意味	163	
終 章	無作為抽出ウェブ調査の展望	169	
	▶その必要性と今後の課題		[杉野 勇]
1	無作為抽出であることとウェブ法であること	169	
2	各章のまとめ	170	
3	今後の課題と展望	175	

あとがき

資料 調査票

索 引